

■活動報告(主なもの)

8月 4日(月)	新・農業政策プロジェクトチーム会合	10月28日(火)～29日(水) 企業会計決算審査特別委員会
8月 7日(木)	スポーツ振興・健康づくり対策特別委員会	中国・黒龍江省人民代表大会代表団来県
8月11日(月)	原油価格高騰の影響について県北地域農業・漁業を視察	上越地域へ農業視察(中山間地域・畜産業・農業法人など)
8月25日(月)～26日(火)	総務文教委員会県内視察(魚沼市、南魚沼市)	スポーツ振興・健康づくり対策特別委員会
8月31日(日)～9月 4日(木)	訪中代表団として中国訪問(黒龍江省・広東省)	各団体の皆様からの来年度県予算に対する要望説明会開催
9月 7日(日)	第28回全国豊かな海づくり大会(新潟市)	都道府県議会議員研究交流大会(東京・都市センターホテル)
9月11日(木)～30日(火)	9月定例会	林家木久扇先生をお招きし教育セミナーを開催
9月27日(土)～28日(日)	大分国体新潟県選手団顧問として開会式参加と競技応援	企業会計決算審査特別委員会
9月29日(月)	希望の持てる農業政策を考えるセミナー(東大院 鈴木宣弘教授)	金融不安や円高対策のため県央地域の地場産業を視察
10月19日(日)	県知事選挙投票日	道路整備の促進を求める全国大会(東京・日比谷公会堂)
10月20日(月)	県予算編成に対して、政務調査会にて要望	12月定例会



原油価格高騰の影響について県北地域農業・漁業を視察



県予算編成に対して、政務調査会にて各部局長に要望



上越地域へ農業視察



各団体の皆様からの来年度県予算に対する要望説明会



大分国体新潟県選手団顧問として開会式参加



黒龍江省人民代表大会代表団来県



林家木久扇先生をお招きし教育セミナーを開催



県央地域の地場産業を視察

平成20年12月定例会討論概要 (自由民主党代表質問 <H20.12.5> 抜粋)

■質問／知事は二期目の重要課題として「格差の是正」に取り組むと聞くが、具体的にどのような方針で取り組むのか。

□答弁／県人口が240万人を割り込み、その要因に中央との所得格差による若者の県外流出がある。今、求めらるのは、中央との格差を是正し「今日よりも明日が良くなる」と信じることの出来るふるさと新潟を築いていくことと考える。そのために、■産業・農業の高付加価値化など「将来への展望を切り開く地域経済の自立」■医療・福祉の充実や子育て環境の整備など「安心・安全で一人ひとりが大切にされる社会の実現」■地域の個性と住民の創意工夫を活かすことの出来る「地域主権・財政構造改革の推進」の3つの柱を基本とし、将来に希望の持てるふるさと新潟の実現を目指していきたい。

■質問／新潟空港利用者がここ一年間低迷を続けている。大きな理由はバス路線しかない公共交通の不便さにあると指摘もあるが、今後改善に向けてどのように対応するのか。

□答弁／北東アジアのゲートウェイとしての新潟の拠点性向上に向け、短期的取組としては、新しい新潟の玄関口として整備の進む新潟駅南口から、快適で利便性の高い空港バス開設に向け事業者選定等を進めている。また、中・長期的取組としては、定時性に優れた軌道系のアクセスについて、引き続き検討を進めていきたい。

■質問／当面は内需拡大を目指さなければと考えるが、建設業への波及効果が大きいことから、公共投資への拡大策を図るべきと考えるが。

□答弁／安全・安心な社会基盤の整備の観点や、地域経済の活性化、雇用の確保の観点から公共投資は重要な役割を担っている。12月補正予算案で約24億円の公共事業費を確保した。県の財政は国の制約下にあるため、年度内にも想定される国の追加経済対策や、来年度の政府予算、地方財政計画等の動向を見極め、年度内の措置を含め、県の対応を決めていきたい。

■質問／技術を持つ企業を残すため、ここ数年の資金を繕ぐことが重要であり、融資については、元金の据置期間を

10年程度に延長するなどの施策を展開する必要もあると考える。

□答弁／県の制度融資においては、県内中小企業の資金ニーズを捉え、個々の経営状況に応じて出来るだけ弾力的な対応が可能となるよう制度運用を図っている。今後は据置期間延長等についても検討したい。また、県の制度融資以外についても、県内金融機関及び信用保証協会に対し、債務の期間延長や返済条件の緩和など、個々の事業者の実情に配慮した弾力的な対応をとるよう要請した。

■質問／トキめき新潟国体が、2月17日から冬季国体の開催により始まるが、県民への周知が十分でないよう思う。国体業務のボランティア等の応募状況や地域の盛り上がりがよくないと聞くが、開催気運の醸成に向けた取組状況は。

□答弁／ボランティアは、現在、目標に達していない、今後、企業や地元のJAや婦人会等へも積極的に働きかけ確保していく。また、地域の盛り上がりについては、県内各地での競技別リハーサル大会の開催を契機として、競技への関心が高まるとともに「花いっぱい運動」や「環境美化活動」などの県民運動への取り組みも広がってきていている。今後も、マスコットキャラクターなどを活用した広報活動を積極的に行い、市町村や関係機関・団体など幅広く連携を図り開催気運の醸成に努める。

■質問／北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会結成も含めて、拉致事件解決に向けた決意は。

□答弁／31年前に横田めぐみさん、30年前に曾我ミヨシさんが北朝鮮に拉致され、その状態が継続している。特定失踪者も多く、拉致はあってはならない国家犯罪だ。ご家族も高齢化が進み、時間との戦いとなっている。しかし、一向に拉致問題の解決に向けた兆しが見えない状態で、ご家族の心中を察すると言葉にならない。そこで、これらの状況を開拓するため、先般、新たに「知事の会」を立ち上げ、政府に追加制裁を交渉カードとし、一步前に踏み込んだ交渉をするよう強く訴えている。拉致被害者の皆さんに笑顔が戻り、ご家族が揃って過ごせる日が一日も早く来るよう、

従来の取組に加え「知事の会」を外交交渉を後押しする大きな力にして、一日も早い全面解決となるよう引き続き全力で取り組む。

■質問／世界的な穀物需給の変化等を踏まえ、食料自給率・自給力の向上が重要な課題となっている。県でも調整水田など多くの不作付地を抱えているが、県は平成21年度の生産調整を止めようとしているのか。

□答弁／世界の食料事情が大きく変化する中で、限られた農地を最大限に活用し、食料自給率を向上させていくことが農政の基本的な課題であると認識している。このため、21年度の生産調整では、調整水田などの不作付地等を有効活用し、海外に大きく依存する小麦や飼料作物に置き換えることが可能な米粉や飼料用米の生産、非常時には主食用に転換できるバイオ燃料用稻等の生産などの取組を重点的に推進していきたい。なお、現在の生産調整では、単収を増やして収入を確保する意識が働くことから、食味・品質を向上させて収入を高めていく意識への転換を進めるような仕組み等も検討していく必要がある。

■質問／研修医の県内への定着に向けて更なる努力と対応が必要とされるところだが。

□答弁／昨年10月に、県内17の臨床研修病院とともに「良好医育成新潟県コンソーシアム」を設置し、首都圏や県内での研修医確保のためイベント実施や、県外大学に進学した医学生訪問など、研修医確保に一体となって取り組んだ。平成20年度の研修医マッチング結果では、昨年に比べ21人多い94人となり、増加数としては、全国最多となった。県としては、引き続き新潟大学をはじめ各臨床研修病院とともに、研修医にとって魅力ある研修環境や病院間連携による研修プログラムの構築などにより、当面の目標として臨床研修制度導入当初の100名程度のマッチングを目指す。また、地方の努力のみでは限界もあることから、臨床研修制度の見直しやへき地勤務の義務化などを引き続き国に働きかけていく。

■所属委員会及び党役職、所属議連

- 総務文教常任委員会
- スポーツ振興・健康づくり対策特別委員会
- 自由民主党新潟県支部連合会 政務調査副会長
- 自由民主党新潟県支部連合会 青年部顧問
- 園芸振興議員連盟
- 観光産業振興議員連盟
- 農政研究議員連盟
- 土地改良議員連盟
- 文化振興議員連盟
- 新潟県「佐渡銀山」世界遺産登録推進議員連盟
- 砂防事業促進研究会

- 北朝鮮に拉致された国民の救出を支援する新潟県議会議員の会
- 障害福祉議員連盟
- 保育事業振興議員連盟
- 接骨士会事業促進議員連盟
- 防衛問題議員連盟
- 森林林業振興議員連盟
- 金融・経済政策研究会
- スポーツ振興議員連盟
- 看護対策議員連盟
- など

ご質問等ございましたら、事務所までご連絡ください。ご説明に上がらせさせていただきます。

■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡ください。また、3人程度お集まりいただければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけください。

■新春県政報告会のご案内

日 時／2月中旬(予定)

是非ともご参加ください。なおご参加をご希望下さる方は、恐縮ですが、1月30日(金)まで事務所までお電話かFAXでご連絡ください。詳細をご案内させていただきます。

■事務所のご案内

下記住所にて事務所を設置しております。
お気軽にお立ち寄り下さい。

新潟県議会議員 小林 一大事務所
〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町2-7-10
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328
メールアドレス kobayashik@gikai.pref.niigata.jp

